



2012・7・30

第 160 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

憲法めぐる危険な情勢を見据えて

分野別「会」交流会ひらく

九条の会は7月23日、この間の各「会」の活動の取り組みを交流するとともに、あわせて9月に開かれる「九条の会講演会」の成功に向けた意見交換を行いました。

会の冒頭、九条の会の事務局から小森陽一事務局長から、「九条の会講演会」に向けて、次のような論議がすすんでいることが報告されました。

①「講演会」で講演する呼びかけ人は、これまで、大江健三郎、奥平康弘、澤地久枝の3氏が決定。

②文化行事は、俳人、歌人、詩人の3つの「会」によるそれぞれの分野の作品朗読をおこなう。

③各分野別の「会」および東京連絡会には運営委員会への参加およびスタッフの提供を要請したい。

④8月15日から、講演会参加申し込みを受け付ける。

局員が明文・解釈両面にわたって展開されている最近の憲法をめぐる動きについて問題提起しました。

これをうけた交流では、それぞれの活動報告とともに情勢についても活発な発言が相次ぎました。日本の憲法をめぐる動きについては日本のメディアには見られない韓国の強い反応がある(マスコミ)、メディアは「決められる、決められない」ばかり問題にしている、「メディア」談合が心配(女性)、官邸前行動に参加してみたが出るのはメディア批判ばかり、オリンピック報道が世論誘導になるのが心配(映画人)、改憲問題でアピールを出すことにしている(詩人)、オリンピックが本来のあり方で成功するよう議論を盛り上げたい(スポーツ)、9月1日の防災訓練に今年は自衛隊ばかりでなく米軍が参加しようとしている(建設人)等々。

「九条の会講演会」の運営やスタッフ提供についての積極的発言がありました。

憲法めぐる情勢を直視して

交流に先立って、九条の会の高田健事務

「私の立場」で憲法を語る

【山梨・甲府市】 甲府市内の5つの9

条の会(千塚、北西、朝日、舞鶴、甲府健康友の会)は5月 27 日、共同して「日本国憲法と私の立場」をテーマにシンポジウムを開きました。

シンポジウムでは、大沢英二・山梨YMCA名誉主事が「甲府空襲体験をふまえて」と題して小学6年の時の甲府空襲の体験を紹介し、「戦後出会った憲法に引き寄せられた。キリスト教の成り立ちは平和が基本です」と語りました。「医療の現場から」をテーマに取り上げた飯田龍一山梨病院名誉院長は、「平和な社会と安定した生活の実現が医療の根本目的。憲法 25 条を保障する国の責任は大きい」と述べました。関本立美弁護士が「イラクへの自衛隊派兵と裁判」と題して報告しました。

お話し会・読者会とも連携して

【子どもの本・九条の会】 作家の松谷みよ子さん、絵本作家の大田大八さん、児童文学作家の古田足日さんらがよびかけた子どもの本・九条の会は、6月 30 日、会員数千人を目前に4周年の集いを開きました。

集いでは、子どもの本・九条の会広島事務局長の三浦精子さんは、広島在住の作家や文学者団体だけでなく 300 以上のお話し会・読書会が参加していることを報告しました。

福島県南相馬市の「はらまち九条の会」の事務局長で元高校教員の山崎健一さんが特別ゲストで登壇。「津波がきたらだめになると素人目にもわかるのに経済が優先した。政治家、財界、学者とみんなひどいが一番ひどいのはマスコミ。本当のことを何も伝えない」と、原発推進の世論づくりを告発しました。

九条の会呼びかけ人の奥平康弘さんが講演

しました。

国会傍聴し、怒り新たに

【千葉県・長生村九条の会】 長生村九条の会は、5月 31 日、20 人の代表が国会に出かけ、衆議院憲法審査会を傍聴するとともに、各党の委員と地元出身議員に対して、「憲法 9 条を改正しないこと」の国会請願署名を携えて訪問し、請願しました。

午前 10 時前に国会に到着、ただちに傍聴手続きをして、審査会が開かれている第 18 委員会室に入りましたが、傍聴席は満席のため、立ち見の傍聴となりました。この日の審査会は、「日本国憲法及び日本国憲法に密接に関連する基本法制に関する件」(日本国憲法各条項のうち、第二章の論点)について論議されました。審査会は、午前 9 時から始まり、最初に衆議院法制局から説明を聴取し、各会派の代表者からの意見表明があり、その後、委員から自由に意見表明が行われました。

定数 50 人の審査会ですが、私たちが傍聴している間、自民党の委員は多くが欠席しており、全体として過半数ぎりぎりという状態で、大事な憲法に関する論議が、こんないい加減な形ですすめられていることに、本当に恐ろしくなり、怒りがこみ上げてきました。憲法をまじめに学ぼうとしない、ろくに知らない議員の安売があるからとか、違憲の自衛隊という軍隊があることを前提にした質の低い議論に肌寒さを感じました。(「長生村九条の会・ニュース」第 42 号より)